

西 都

社協だより

2023.10

No. 107

発行 / 令和5年10月15日

令和5年度も新たに2箇所のサロンが始動!!

「都於郡3区」では「青山サロン」 in 青山公民館が再開!

都於郡3区青山地区では、コロナ禍もあり、しばらくサロンは休止。その間、青山公民館の玄関に「青山サロン ポスト」を設置!!地区の皆さんから俳句や詩・短歌・川柳等を募集し、「ハイクだより」を発行・配付。

そして、4月からサロンを再開、10月からは百歳体操を開始。地区住民の声を聴きながら、情報交換や交流を大事にしています。

▶二次元コードを読み込むと、青山サロンのハイクだよりが見れますよ



「都於郡8区」では「下沖なのはな会」 in 下沖公民館が開始!

2月から百歳体操、4月からはサロンを開始。週に1回は顔を合わせ、百歳体操。今後は社協の福祉バスなど活用し、外出など楽しみを増やしていく予定。ご近所同士でのつながりを深めています。



◀開催場所の下沖公民館の壁には賞状がズラリ。



▲昭和54年に公民館が落成された写真もありました。

社会福祉法人 西都市社会福祉協議会・社会福祉法人 宮崎県共同募金会西都市共同募金委員会

〒881-0004 西都市大字清水1035番地1(総合福祉センター内) TEL.0983-43-3160・FAX.0983-42-4743

E-mail saito-s@face.ne.jp ホームページ <https://www.saito-shakyo.jp>



令和5年
9月25日

都於郡4区かなだ会 宮崎市月見ヶ丘北自治会との意見交換会



宮崎市月見ヶ丘北自治会は、宮崎市の中部、赤江地域自治区の一つで、高台の閑静な新興住宅地。「安全・安心で快適な住みやすい街づくり」のため、4つの部(地域安全・福祉・環境美化・総務)を中心に、お互い連携しながら活動。たくさんの活動に、多くの地域の人に関わることで、誰かに負担が集中するのではなく、地域の人それぞれが出来ることを分け合い、楽しみながら活動されていることが印象的でした。

宮崎市月見ヶ丘北自治会

- 【規模】 人口662名 262世帯 75歳以上の高齢化率23%
- 【特徴】 女性や若者の自治会活動への参画、自治会活動の分業(ワークシェアリング)
- 【活動内容】 「北区だより」の発行、自治会加入の勧誘(勧誘チラシやゴミ袋等の配布)、イベントの開催(多世代交流)、物品販売や資源物回収による自主財源の確保、自主防災助け合いネットワークの充実、防災訓練、安心カード(救急隊員配布用)の設置、高齢者の見守り・声かけ、健幸体操やサロンの開催、登校時の見守り・などなど

◎都於郡4区かなだ会では、今回の学びから『やれること』から始めてみる予定。

【プチ情報】「都於郡4区かなだ会」は、令和5年9月15日の宮崎日日新聞シニア特集に掲載されました!!

あなたの地域でも出来ることから始めてみませんか?

問い合わせ先 総務課 地域福祉係 ☎ 43-3160

令和5年度 西都市権利擁護研修会を開催しました!

権利侵害の対象になりやすい高齢者や障がい者等を守るために、医療・福祉関係者が、虐待を防ぐ取り組みや発生時の適切な対応を理解する目的で、9月22日に「西都市権利擁護研修会」を実施いたしました。

弁護士法人松田共同法律事務所 青木弁護士より、高齢者・障がい者虐待防止法の基本と具体的な対応についてご講義いただきました。その後、こゆ成年後見支援センター 合田社会福祉士により、虐待対応における福祉職の疑問を青木弁護士に聞いていく形で、参加者同士でグループワークを行いました。

高齢者や障がい者を支援する地域の専門職として、『虐待に対する気づき』『情報の整理』『整理した情報をどのように、どこの機関と評価するか』など、具体的な対応を学びました。これらを今後の業務に活かしてスキル向上していきます。

※虐待に対するご相談は、西都市地域包括支援センターまでお願いします。

問い合わせ先

西都市南地区地域包括支援センター ☎ 41-0511
西都市北地区地域包括支援センター ☎ 32-9595



★オカリナアンサンブル スカーレット

土から作られる楽器で、優しい音色が特徴のオカリナ。

オカリナの音には、リラックスした時の脳波α波を起こす働きがあると言われています。

アンサンブル(合奏)はメロディーにいろいろな音を加えるため、バランスをとるのが難しいですが、その優しくやわらかな音色をお届けしたいと、現在、5人のメンバーで日々練習に励んでいます。

高齢者施設での演奏やさまざまなイベントにも出演しています。演奏のご依頼や活動にご興味のある方のご連絡をお待ちしています。ぜひ、オカリナの音色を楽しんでみてください。



問い合わせ先

西都市ボランティアセンター

☎ 43-3160

令和5年7月 九州北部豪雨

災害ボランティアセンター職員派遣レポート

生活支援課相談サポート係
課長 吉田 佳孝

私は、8月12日から16日までの5日間、福岡県久留米市災害ボランティアセンターの運営支援に携わってきました。

久留米市では、線状降水帯による豪雨により内水氾濫や土石流が発生し、約3,700世帯が床上及び床下浸水の被害を受けました。発災から1か月後の派遣でしたが、土石流発生地区には未だショベルカー等の重機も入っている状況でした。派遣期間中は、熱中症アラートが連日発令される猛暑でしたが、毎日120名を超える方がボランティア活動に参加されていました。ボランティア参加者の中には、連日参加している方や、初めて参加する方、また外国籍の方など様々でした。



印象に残っているのは、初めてボランティアに参加された方が、出発の時は不安そうな表情をしていたのに、作業を終えて帰ってきた時には、明るい表情で、その日一緒に活動した仲間たちと「頑張りましたね。また会いましょうね。」と話をされていたことです。

被災世帯の支援が災害ボランティアセンターの役割ではありますが、ボランティア参加者に明るい気持ちで帰っていただくことが次のボランティアにも繋がる重要な事だと感じました。

また、派遣人数の調整や作業内容にマッチした資機材の貸し出しなど、効率の良いセンター運営には、被災世帯が望む作業内容(ニーズ)を正確に把握することが不可欠であることを学びました。

今回の災害ボランティアセンター派遣で得た、気づきや学びを糧とし、これからの業務に励んでまいります。



問い合わせ先

西都市ボランティアセンター

☎ 43-3160

食料品の寄付をいただきました!

妻南小学校児童の皆様から食料品等を、JA女性部の皆様からお米や食料品等をいただきました。そのほか、数名の市民の方からもご寄付いただきました。



皆様にお寄せいただいた食料品は、生活に困っている世帯に食料品を届けるフードバンク事業で大事に活用していきます。ありがとうございました。

問い合わせ先 **生活支援課 相談サポート係**
☎ 43-4613

さわやか西都クラブ活動紹介

カラオケ大会

8月24日(木)あいそめ館にて、さわやか西都クラブ(高齢者クラブ联合会)主催のカラオケ大会を開催しました。当日は、総勢26名ののど自慢が歌声を披露してくださいました。元気な歌声にはもちろんですが、舞台上での立ち振る舞いがとても素敵で感動しました。当日歌を披露していただきました皆様、また応援に駆けつけてくれた皆様ありがとうございました。



西都警察署長杯グランドゴルフ大会

9月7日(木)西都原陸上競技場にて、西都警察署と共催でグランドゴルフ大会を開催しました。当日は、グランドゴルフのほか、セニアカーやサポートカーの体験ブース等を準備し、交通安全について啓発活動を行いました。

問い合わせ先 **西都市高齢者クラブ联合会事務局**
☎ 43-4613

無料法律相談のご案内

西都市社会福祉協議会では、弁護士による無料法律相談(毎月第3火曜日・相談時間25分間)を実施しています。相談は事前予約制となっています。利用を希望される方は、まずはお電話ください。

相談日

10月17日(火)

11月21日(火)

12月19日(火)

1月16日(火)

2月20日(火)

3月19日(火)

問い合わせ先 **生活支援課**

相談サポート係 ☎ 43-4613

赤い羽根共同募金! 今年もご協力お願いします

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が全国一斉にスタートしました。お寄せいただいた募金の約7割が西都市内、約3割が宮崎県全体のために使われています。

『困ったときはお互いさま』の精神から始まった赤い羽根共同募金。皆さまからお寄せいただいた『おもいやり』をたくさんの『ありがとう』につなげていくため今年も赤い羽根共同募金へのご理解ご協力をお願いします。

問い合わせ先 **総務課 総務係** ☎ 43-3160



令和4年度 事業報告

◆ 総務課総務係

理事会・評議員会の役割機能を発揮できるよう、円滑かつ効率的に本会運営を推進し、監事の指導及び監査により会務の適正な執行に取り組みました。また、総合福祉センターの指定管理者として、市民の福祉活動や各種団体等の研修活動等適切な管理運営に努めました。

◆ 総務課地域福祉係

コロナ禍で活動の自粛や停滞が続くなか、中核を担う住民組織や関係者等と意見交換を行い、地域住民同士のつながりを切らさない・住民主体の地域性を活かした取り組み等を検討しました。地域福祉活動やボランティア活動等について、関心を持ってもらうよう、他団体や関係機関等と連携・情報共有、情報発信に努めました。また、台風14号の災害により、災害ボランティアセンター設置、災害ボランティアによる支援活動も行いました。

◆ 生活支援課相談サポート係

西都市成年後見支援センターを新たに受託し、法人後見事業や日常生活自立支援事業と連携し、権利の擁護を必要とする方に対して支援を行いました。また、ふれあい総合相談センター事業では、毎日の生活の中での困りごとに対して、関係機関や他業種と連携し、専門的な支援に取り組みました。

◆ 在宅福祉課訪問介護係

在宅で生活する高齢者や障がいのある方が、自立した日常生活をおくれるようホームヘルパーを派遣して生活援助等のサービスの提供を行い、介護支援専門員は本人や家族の希望に沿った居宅介護計画書を作成しました。障がい者・障がい児またはその家族に対しては、日常生活での自立や社会参加の支援を相談支援員が行いました。虐待防止委員会の設置を行い権利擁護に関しての研修を行っています。

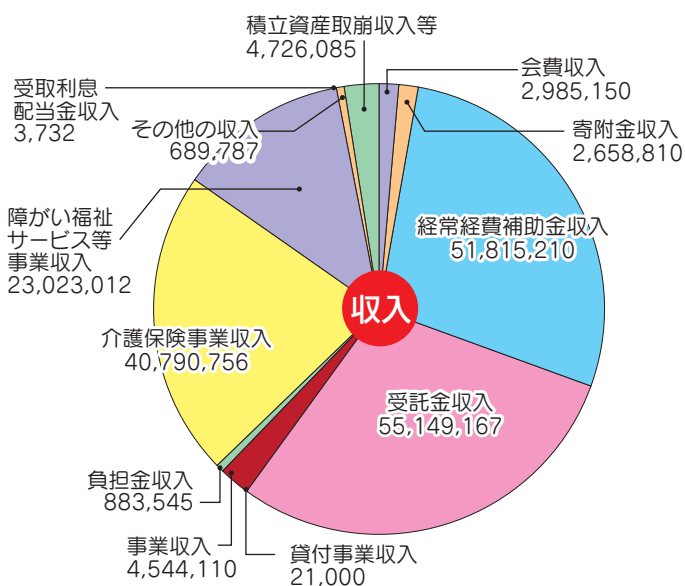
◆ 在宅福祉課通所介護係

地域密着型通所介護事業(デイサービス)として、利用者の自宅から老人福祉センターのデイサービスルームへ送迎を行い、認知症の進行予防活動、食事や排せつ、健康管理、衛生面の指導、看護、入浴を支援してきましたが、令和5年3月末をもって終了しております。

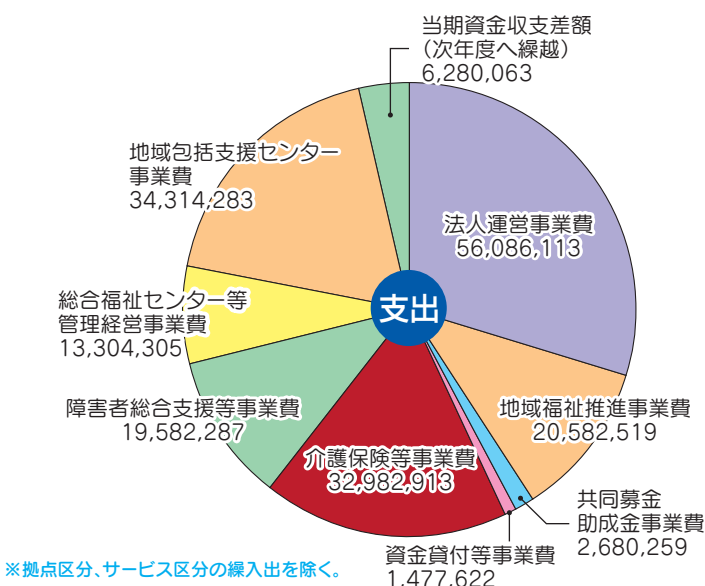
◆ 地域包括支援センター

地域の高齢者が要介護状態または要支援状態になることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるように支援をしてまいりました。多様化する時代背景と共に、複合的な課題を持つ方の支援も少なくありませんが、関係機関や多職種との連携を図りながら、課題解決に向かうように支援しております。個別の持つ課題から、組織や地域で支援できる体制づくりにも協働しております。

令和4年度 決算



合計 187,290,364円



※拠点区分、サービス区分の繰入出を除く。

合計 187,290,364円



退任のごあいさつ

社会福祉法人
西都市社会福祉協議会

前会長 黒木 郁雄

このたび、令和5年6月29日をもちまして、西都市社会福祉協議会の会長を退任いたしました。

令和2年4月の就任以来、地域の皆さまをはじめ、関係機関・団体など多くの方々のお力添えにより会長としての役目を全うできたことに心から感謝申し上げます。

在任中は、新型コロナウイルス感染症により、人と人がつながることが難しい状況下で、社会的孤立や経済困窮等、生活課題が顕在化し、私たちの生活も大きく変わりました。

今後、更に高齢化が進行する中、社会福祉協議会の果たす役割は大変重要になってくると思われまますので、引き続き、変わらぬご指導とご交誼を賜りますようお願い申し上げます。

これまでお力添えをいただきました皆さま方に感謝を申し上げ、退任のごあいさつとさせていただきます。



就任のごあいさつ

社会福祉法人
西都市社会福祉協議会

会長 竹之下 悟

このたび、令和5年6月29日より西都市社会福祉協議会の会長に就任いたしました。

市民の皆さまには、日頃より本会の活動に対し、ご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、地域を取り巻く環境は、人と人のつながりの希薄化や地域活動の担い手不足、加えて新型コロナウイルス感染症による生活困窮など大きく変化しております。

このような中、社会福祉協議会の使命として、多様化・複雑化する福祉ニーズに対し、十分役割が果たせるよう、役職員一丸となって努力を重ねて参ります。また、関係機関・団体をはじめ、市民の皆さまと手を携え、地域に密着した取り組みを積極的に展開し、地域福祉のさらなる充実を図って参ります。

今後とも更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

★香典返し・一般寄附のお礼

令和5年6月1日から令和5年9月30日までに、次の皆さまから社会福祉事業にとご寄附をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。尚、この欄は、寄附者の掲載意思を尊重(確認)した上で掲載させていただいております。

香典返し寄附 ※敬称は略させていただきます。

寄附者名	続柄	故人	集落名	寄附金額
綾部 敏 浩	母	岩切マスミ	高鍋町	金一封
富山 房 市	妻	利	上沖	金一封
緒方マリ子	夫	重秋	門田	金一封
瀬戸口裕之	母	イサ子	上三財	金一封
沼口町子	夫	譲	調殿	金一封
野田 巖	妻	アサエ	川原田	金一封
壹岐 勝 敏	母	トヨ	串木	金一封
清 逸 雄	母	アキエ	山田	金一封
田中保子	夫	憲一	聖陵南団地	金一封
弓削耕次	母	キミエ	中村	金一封
橋本和夫	母	ステ子	童子丸	30,000
伊東スミ	夫	勝文	四日市	金一封
浜砂純一	母	高子	右松村	10,000
押川幸博	母	夕メ	下山路	金一封
安藤久仁子	夫	美敏	平田	金一封
本部久美子	夫	恵紀	蘭元	金一封
河野浩生	母	一代	上揚	金一封
横山 正	母	トシ子	中村	金一封
岩崎和男	母	ハル子	前原	金一封
杉尾重徳	妹	文子	上沖	金一封
緒方正人	母	照子	下尾筋	金一封
鳥海妙子	子	弘	中村	10,000
中武武敏	母	ナツエ	福王寺	金一封
岡田ケサ子	子	美保	上札の元	金一封

寄附者名	続柄	故人	集落名	寄附金額
野田フサ子	夫	金夫	石野田	金一封
中川満子	夫	文雄	受関	金一封
那須義輝	叔父	黒木福督	日向市	金一封
鳥海敏夫	妻	ハル子	島内町	金一封
黒木京子	夫	安広	清水	金一封
関谷夕力子	夫	松美	川原	金一封
長谷川智宏	母	シヅコ	杉安村	金一封
楠元妙子	夫	幸憲	妻	金一封
光森武雄	母	小恵子	鳥子	金一封
香川憲一	母	照海	国分	金一封
橋田恭代	母	由子	旭村	金一封
平郡和彦	母	サエ子	岩爪	金一封
横川政人	母	モミエ	岩爪	金一封
日高孝伸	母	カズ子	四日市	金一封
押川喜敬	母	ハル子	中山	金一封
天神忠男	子	忠裕	下妻	金一封
中竹聖子	母	別宮ヤス子	木城町	金一封
日高康彦	母	恒	蘭元	金一封
木村真一	母	ミチ子	上山路	金一封
横田泰枝	夫	作夫	島内町	金一封
鍋島正則	兄	岩倉清	並木	金一封
齊藤浩子	母	伊東絹子	宮崎市	金一封
原田初子	夫	隆治	上茶	金一封
齋藤侯子	子	武紀	岩爪	20,000
佐々木紀子	夫	徳春	山城	金一封

香典返し・一般寄附は「特定寄附金」に該当し、所得控除や税額控除などの税制優遇措置を受けることができます。お気軽にお問い合わせください。

この「社協だより」は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。

お電話・FAXやE-mailで地域の皆さまの声をお聞かせください！

社協だよりの感想や社協に対するご意見・ご要望等なんでもお聞かせください。今後の事業推進の貴重な資料とさせていただきます。